

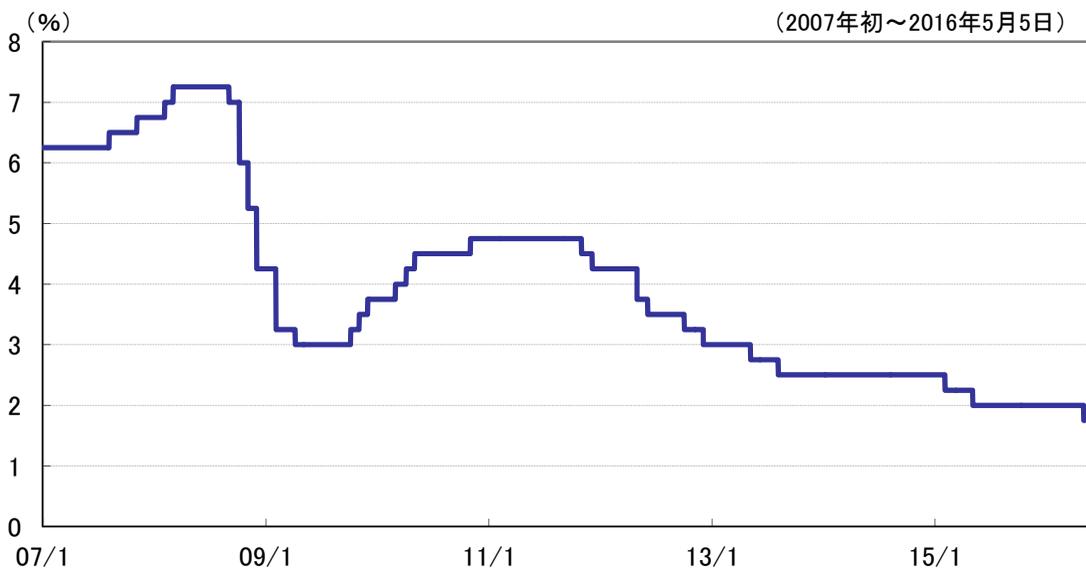
豪州が政策金利を0.25%ポイント引き下げ

2016年5月6日

<豪州が0.25%ポイントの利下げ>

5月3日(現地)、RBA(豪州準備銀行)は政策金利(銀行間翌日物金利の誘導目標)を0.25%ポイント引き下げ、過去最低の1.75%としました。市場では、据え置きと利下げで予想が分かれていたため、今回の利下げはややサプライズとなりました。利下げは2015年5月以来約1年ぶりとなり、2011年11月から始まる今回の利下げ局面では11回目、累積で3.0%ポイントの利下げとなりました。

豪州の政策金利の推移



(出所)ブルームバーグ

<利下げの背景>

利下げが実施された背景としては、インフレの落ち着きが挙げられます。1-3月期のCPI(消費者物価指数)は、RBAが重視する基調インフレ率で前年比1.55%に低下し、2月時点のRBAのインフレ見通しならびにRBAの目標値である2~3%を下回る伸びとなりました。RBAは、直近のCPIのデータは一時的な要因が含まれているとしながらも、低い賃金の上昇率や価格競争の高まりを受けて、従来の見通しよりも物価上昇圧力が弱いことを示しているとしています。また、国内景気や海外景気に関しても、拡大は続くものの、そのペースはより緩やかなものになるとの慎重な見方を示しました。豪ドル相場に関しては、通貨高が景気の足かせとなるリスクを指摘しました。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

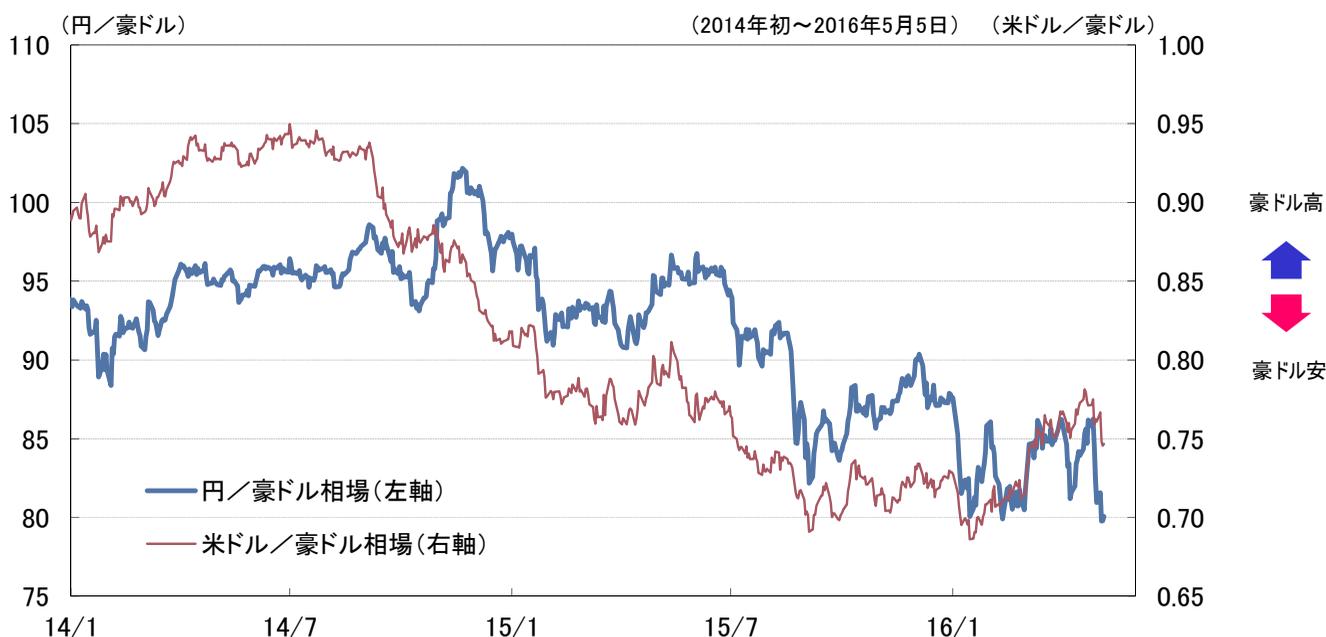
■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

<今後の見通し>

今回の声明文では金融政策の先行きについては触れていませんが、過去最低水準となった政策金利による国内景気への影響や海外景気の動向を見極めるため、RBAは政策金利をしばらく据え置く可能性が高いと考えています。ただし、今回の利下げにも関わらず、7月下旬発表の4-6月期CPIもしくは10月下旬発表の7-9月期CPIが再び弱い結果となれば、低インフレを理由に追加利下げが実施される可能性は残っています。

豪ドル相場は、追加利下げへの期待が上値を限定的にする可能性があるものの、足元の鉄鉱石価格や原油価格など商品価格の反発や、豪州国内の労働市場の改善、市場環境の落ち着きを背景とした市場のリスク選好姿勢の高まりなどが続けば、豪ドルも底堅い動きとなることが期待されます。

豪ドルの推移



(出所)ブルームバーグ

以上